

2. VOICEプロジェクトから出された意見まとめ

○健康、福祉、子育てについて

	関市の良いところ	関市の惜しいところ	10年後の関市	今後必要な取組
リレー			<ul style="list-style-type: none"> ・子育てのしやすいまち ・障がい者でも高齢者でも暮らしやすいまち ・幅広い年代が集まれるまち 	
ツリー			<ul style="list-style-type: none"> ・みんな仲良しで差別のないまち ・互いに協力しあい助けあえる、あたたかな福祉のまち ・いつまでも元気で健康なまち ・高齢者に優しく、いきいきと楽しくらせるまち 	
ミーティング	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てサークルの開催など子育てしやすい環境があること ・医療機関が充実していること 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代に対するサポートの不足 ・人と人の関係が希薄になっており、互いに支え合うという意識が低下していること 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰にでも優しいまち ・子どもから高齢者まで安全・安心に暮らせるまち ・楽しく子育てできるまち ・困ったときに助け合えるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども食堂の運営 ・助産師と話が出来る場所や子育てに困ったときにいつでも相談できるような場所づくり ・子育て世代が気軽に立ち寄れる場所づくりやイベントの開催 ・妊娠～産後までのトータルケア ・ひとり暮らし高齢者のための料理教室 ・多世代間の交流の促進 ・若者しやすい環境づくりや子育て世代が行う各種活動へ対する支援 ・子育て世代が働く環境の整備 ・食育への取組 ・高齢者、障がい者、ニートなどが働ける内職センターの設立 ・老後も安心して過ごせる環境整備
フューチャー			<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者と小・中学生が交流できる ・ボランティア活動に自分から参加できるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の孤独死をなくすため、老人ホーム・介護施設を増やす ・女性が子どもを預けられる施設を増やす
工房	<ul style="list-style-type: none"> ・施設などの福祉的資源が充実していること ・行政や地域で、連携しながら(支援が必要な人を)支える関係ができつつあること 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園、病院、公共施設等がうまく活用されていないこと ・行政や地域内で連携が不十分などところがあること ・福祉サービスを利用できる地域に格差があること ・高齢者の日常的な不便・不安が出てきている(買い物、外出、交流等)こと 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもから高齢者まで誰もが集まりやすく、地域の交流が活発なまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で支援が必要な人と支えてくれる人をマッチングさせる仕組み ・交流拠点となる公民館や空き家の整備 ・地域の人々の得意分野と知恵を活用できるような機会づくり

○教育、スポーツ、文化、生涯学習について

	関市の良いところ	関市の惜しいところ	10年後の関市	今後必要な取組
リレー				
ツリー			<ul style="list-style-type: none"> ・いじめゼロのまち ・自慢できる、誇れるまち ・夢が叶うまち ・文化やスポーツ活動がさかんなまち ・ラグビー日本一のまち ・音楽があふれるまち ・誰もが生き生きしているまち 	
ミーティング	<ul style="list-style-type: none"> ・寺社仏閣や円空、鶴飼、刃物など、歴史と文化のまちであること ・大学や専門学校があること 	<ul style="list-style-type: none"> ・関商工の生徒が地元企業に多く就職できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民に生きがいがあり、いきいきと生活できるまち ・関市民として自分の育った場所に誇りをもてるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児から高齢者までがスポーツに楽しめる環境づくり ・関市しかできないような体験学習の充実 ・子どもたちが世界を知れる機会の提供(異文化交流) ・市民の図書館利用や読書の推進 ・学生と高齢者が一緒に住むようなシェアハウスをつくる ・地域の小中高等学校との連携
フューチャー			<ul style="list-style-type: none"> ・いじめのないまち ・音楽で有名なまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校へ行く費用(バス通学)を市が助成する ・室内のテニスコートをつくる ・関市の誇れるものを学校単位でPRする ・市内に幼稚園から大学院まであるので、教育の優れた町であることをPRする ・農業をさかんにするため、関市の高校に農業を学べる科目を増やす ・合唱で各学校の交流をする、防災無線の音楽を毎日かえる
工房	<ul style="list-style-type: none"> ・社会全体でスポーツを推進する気運が高まっていること ・児童生徒・教員や地域との関係が良くなっていること ・学校施設・設備が改善されていること 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども・若者を取り巻く環境が変化していること ・子どもを取り巻く行事・イベントが減っている、衰退していること ・市民の文化活動を支える基盤(人材、機会、財源、地域のつながり等)が弱体化していること 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民に生きがいがあり、いきいきと生活できるまち ・関市民として自分の育った場所に誇りをもてるまち ・本が身近にあり、気軽に読書ができるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種読書イベントの開催 ・市民が本を持ち寄ることにより、読書サロンを展開する ・ネット受け付けやポイント制度の導入など、図書館サービスの充実

○地域づくり、共生社会について

	関市の良いところ	関市の惜しいところ	10年後の関市	今後必要な取組
リレー			<ul style="list-style-type: none"> ・市民一人ひとりがまちの様々な活動に関心をもって、積極的に参加するまち ・誰もが自分らしくありのままに暮らせるまち 	
ツリー			<ul style="list-style-type: none"> ・地域の差がなくなるまち 	
ミーティング	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動センターがあり、市民の自発的な活動への支援があること ・人とのつながりがある ・地域活動が盛んであること 	<ul style="list-style-type: none"> ・人と人の関係の希薄化など地域コミュニティの衰退 ・合併から10年を超えたがオール関市としての一体感が希薄 ・市民活動や地域活動の推進 ・若い世代の地域参加が少ないこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら考え自ら行動して協働できる、質の高い市民・企業・団体が多いまち ・小さなコミュニティがいくつもあり、市民がもっと交流できるまち ・元気な高齢者や若者が活躍する活気あるまち ・市民が安心して歩き・集まり・交流し、楽しむまち ・ボランティア活動が盛んなまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・関市民間の交流(他地域での就労体験や、地域の各種活動への体験参加など) ・ボランティア活動員の拡大 ・地域の伝統や習わしなどが新しく来た人にも分かるような工夫 ・他地域と連携したイベントの開催 ・年代、職業、性別を問わずみんなが集える場所をつくる ・大胆な移住定住施策 ・様々な活動で活躍できる人材の育成
フューチャー			<ul style="list-style-type: none"> ・交流が活発なまち(高齢者、障がい者、外国人との交流) 	<ul style="list-style-type: none"> ・市全域にフリーWi-Fiをとばす ・すべての地域にスーパー・コンビニをつくる ・関に住む外国人にボランティアの機会をつくる ・学校、店、あらゆる施設を増やし、市民の力でうまく活用させる
工房	<ul style="list-style-type: none"> ・隣近所同士の交流や地域活動が活発であること 	<ul style="list-style-type: none"> ・多世代間での交流が乏しいこと ・地域差が大きいため、地域それぞれの特性等に基づく対応が必要であること ・旧武儀地域においては高齢化がすすみ、日常の買い物や外出などに不安がでてきていること 	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら考え自ら行動して協働できる、質の高い市民・企業・団体が多いまち ・小さなコミュニティがいくつもあり、市民がもっと交流できるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・良好な近所づきあいや地域活動の実践 ・空き家の情報提供の拡大 ・移動販売やマーケットの運営や買い物のための乗り合い車の制度の整備

○産業、経済、雇用について

	関市の良いところ	関市の惜しいところ	10年後の関市	今後必要な取組
リレー			・若者がUターンできるような働く場があるまち	
ツリー			・豊かなまち ・刃物がより有名なまち ・観光が盛んな(イベント、施設)まち ・刀鍛冶が世界で有名なまち ・生き活きと働けるまち	
ミーティング	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史と伝統ある刃物などの地場産業に誇りをもち、その振興を進めているところ ・鶺鴒、円空、モネの池、ウナギや鮎など、豊富な観光資源があること ・人と人のつながりが強く、地元密着度が高いこと ・市の位置関係が非常によく、また高速道路などの交通アクセスが優れているので、物流や営業活動に優れていること ・農業用水が整備されていること 	<ul style="list-style-type: none"> ・豊富な観光資源を活用しきれていないこと、また観光資源が点在していて連携していないこと ・地元産業に活気がない ・商店街の活性化など身近な買い物環境の衰退 ・公共交通によるアクセスが不便なこと ・人口が少なく、顧客の増加が見込めないこと ・若い人材が不足しており、技術の継承ができないこと ・森林資源が活用できていないこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国・世界から注目される刃物のまち ・交流人口の拡大による活気のあるまち ・全ての産業に後継者があり、前進できるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・営利活動の展開による観光誘客の促進 ・最新の観光情報を掲載した観光協会独自の観光情報冊子の定期的な発行 ・地域の魅力ある商品を有する事業者や技術と意欲のある事業者の発掘 ・板取川流域及び津保川流域の観光開発 ・高山など有名な観光地とのセットで売り込みを行うなどの広域観光の推進 ・働く場所を増やすこと ・観光専門のバスの運行 ・有害鳥獣対策の充実 ・企業誘致の推進
フューチャー				<ul style="list-style-type: none"> ・自然を生かした施設(アスレチック、遊具)をつくる ・楽しめる場所をつくる(ショッピングモール、デパート、遊園地、テーマパークなど) ・「本町」をもっと発展させ、昔のにぎわいを取り戻す ・間伐材を利用し、温かみのある箸・スプーンをつくる ・刃物・鶺鴒のPR施設をつくる(刀の歴史が学べる、鶺鴒体験ができる)
工房	<ul style="list-style-type: none"> ・世界に通用する刃物産業があること ・自然・伝統・寺社仏閣・祭り・グルメなどの観光資源が豊富であること 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や観光客が回遊して、経済が循環するまちになっていないこと ・まちのPRや発信力が弱いこと ・様々な分野・新たな産業が振興されにくいこと ・獣害により農作物が荒らされていること 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客が回遊し、地域経済が活性化するまち ・関市の刃物の認知度が上がり、ブランド力がより向上するまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場を備えた観光の拠点となる場所を整備し、そこで地域ならではのグルメやお土産、特産品などを販売する。 ・観光ルートの開発 ・観光コンテンツの充実 ・刃物の種類や成り立ちなど、刃物に特化したサイトを立ち上げPRする ・Youtubeなど各種SNSを活用したPR(Facebookいいね！競争や、Youtubeコンテストの開催)

○安全・安心、市民生活、環境について

	関市の良いところ	関市の惜しいところ	10年後の関市	今後必要な取組
リレー				
ツリー			<ul style="list-style-type: none"> ・住みやすく環境がいいまち ・ゴミがなくきれいなまち 	
ミーティング	<ul style="list-style-type: none"> ・災害や犯罪が少なく、上下水道や買い物環境が整っていて生活環境が良いこと ・自然、人的災害、犯罪が少ないこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・山や川が多く、災害が発生した際には多種多様な被害が予想されること ・環境・美化のマナーの悪さ 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもから高齢者まで安全・安心に暮らせるまち ・災害が少なく、安全で安心なまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然(川)や生態系の維持保全活動の強化 ・まちの美化活動や剪定作業 ・有事の際に仮設住宅やテント村等に使用できるような防災グラウンドの整備 ・災害時に自分の身は自分で守れるような防災意識の向上 ・障がい者のための避難マニュアルなどの作成
フューチャー			<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故ゼロのまち ・環境がよいまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道橋・横断歩道を増やす、標識を大きくわかりやすくする ・山あいの道路に歩道やガードレールを増やす ・道にポイ捨てがない、畑で草を燃やさない ・防犯灯を増やし、まちを明るくする
工房	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな自然や、安全でゆとりある環境がある ・仕事・生活両面から暮らしやすいこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥獣や害虫による被害がみられる 		

○都市基盤、住環境について

	関市の良いところ	関市の惜しいところ	10年後の関市	今後必要な取組
リレー				
ツリー			<ul style="list-style-type: none"> ・自然豊かな(緑あふれる、清流)まち ・交通の便がよい(鉄道)まち 	
ミーティング	<ul style="list-style-type: none"> ・自然景観に優れていること ・田舎と都市部の両方があり、まちとしてバランスがよいこと ・高速道路の結節点で大都市に比較的近く、交通アクセスが便利である ・広域交通網が充実していること ・上下水道が他自治体よりもよいこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家の増加 ・公共交通による関市へのアクセス、及び市内の周遊が不便であること ・南北の道路整備など交通網の整備 ・大きな公園はあるが、気軽に行ける身近な公園が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関が充実したまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・中心部に集中する老朽化した建物の建て替え更新と、狭い道路の拡幅など ・公共施設や街並みのカラーコーディネートなど、景観の統一 ・分かりやすい道路標識 ・交通インフラの整備
フューチャー			<ul style="list-style-type: none"> ・都市化しつつ、緑が残っているまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通網を発達させる(バスの本数増やす、鉄道をつくり名古屋などから来やすくする) ・道路幅を広くする、高速道路のICをつくる ・身近なところに公園をふやす ・多くの人が集まれる広い公園をつくる(食べ物販売がある、足湯スペース、遊具が多い、ランニング、休憩スペースなど)
工房	<ul style="list-style-type: none"> ・インターが二つあり、高速道路が便利であること ・自然と街のバランスがよいこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・関市の形状が複雑なため、移動などに効率の問題があること ・空き家・空き店舗等が増え、まちが寂しくなっていること 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが暮らしやすい、暮らしにちょうどいいまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内中心部での居住エリア、商業エリアの誘導等せきのまちづくりを見直す ・公共交通の充実、乗り合い車両制度の導入 ・大学生・若者などの空き家の利用支援

○市政運営、市全体に関わることについて

リレー			・住み慣れた地域で住み続けられるまち	
ツリー			<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい・明るい・おもしろい・賑やかなまち ・笑顔あふれるまち ・平和な(戦争がない)まち ・人がたくさんあつまるまち ・幸せなまち ・素敵な魅力あるまち ・都会的なまち ・若者が多く、活躍しているまち ・一番(世界一、日本一、県下一)のまち ・無借金財政のまち 	
ミーティング	・日本の中心部に位置し、多様な地域を有しており、地理的条件がそろっている	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢世帯の増加など少子高齢化の進展 ・公共施設の稼働率 	・関市に住んでいて幸せだと思え、ずっと住み続けたいと思えるまち	<ul style="list-style-type: none"> ・維持費のかかる公共施設の思い切った整理 ・各種委員会などに若い人を選任する ・情報交流がしやすい通信システムの整備 ・近隣自治体との連携
フューチャー			<ul style="list-style-type: none"> ・夢があふれるまち ・住民が持っている不満を言いやすいまち 	
工房	・魅力的な資源(人、自然・観光等)が多いまちであること	・公共的な施設が少なく、利用しにくいこと		